

明日の家族を考える会 会報



・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀絃一 ・事務局長 中村厚子
・発行責任者・編集人 羽賀絃一 ・毎月1回発行
・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

第30号

2011年11月

11月度幹事会

○日時 2011.11.24(木)

19:00~21:10

○場所 中村邸

○出席者確認(敬称略) 大脇、河村、中村、羽賀、以上4名

○報告事項

*事務局報告

- 1) 第11回公開学習会「親子わくわく体操塾」報告
- 2) 中島かおりさん(市会議員)に入会申し込み書を送付した。
- 3) 会報第27号(2011年8月)、第28号(2011年9月)を送付した。
- 4) ウィザス協議会報告

フェスタ2012実行委員会報告(2011.11.1)

①フェスタテーマ

「あしたのために希望の絆」「あしたのためにつながる絆」「未来への絆」
上記3案を12月1日定例会に提案し、その他の案も加え、協議のうえ、決定する。

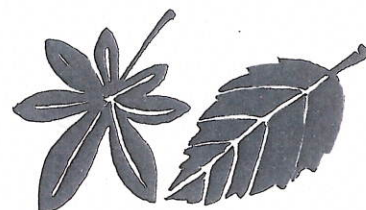
②アトリウム合同事業について

「絆」をキーワードに世代間交流の事業を企画

12月1日定例会で、当会河村さんから事業プランについて説明の予定。羽賀会長は大学講義日のため協議会は欠席、代行として河村さんが出席する。

③役割分担

当会は他の4グループと一緒に「合同事業」を担当する。



イソギク(磯菊)



中村さん



大脇さん



河村さん

④グループワークショップ

10企画・8グループ

当会は、3月6日(火)13:30~15:30E会議室にて第12回公開
学習会を行う。テーマ・内容は中国少数民族シリーズを予定

⑤予算 ¥40,000

⑥その他

バザー収益はDV被害者支援へ、喫茶収益は協議会へ寄付

*会計報告・・河村担当

特になし

*HP報告・・大脇担当

カルガモクラブ、バンビグループについて「動画」を掲載することで検討する。

○審議事項

・例会・忘年会日程、会場について

12月8日(木)

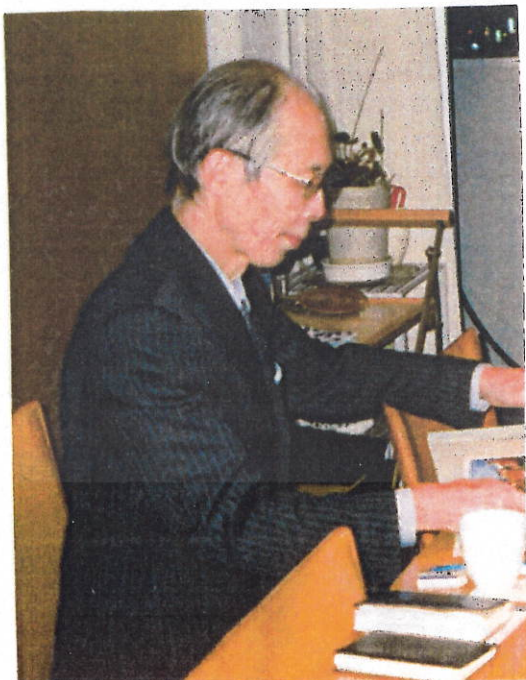
18:00~18:30例会

18:30~忘年会

○次回幹事会

2012年1月26日(木)

19:00~中村邸



羽賀さん



○11月の子育て支援活動

*カルガモクラブ 河村さん担当

第1・第3木曜日10:00~11:30

打出集会所

0歳~よちよち歩きまでの親子が対象です。手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。

子育て仲間を作って育児を楽しみます。

11月3日(木)は、祭日(文化の日)のためお休み

17日(木)は、**5組の親子**が参加されました。ボランティアは、徳田さん



○のびやかスペース「あーち」 ..河村さん担当

第1、第3火曜日13:00~15:30

神戸大学大学院人間発達環境学研究科、ヒューマンコミュニティ創成研究センター・サテライト施設にて実施しています。

11月15日(火)は、**15組の親子**が参加されました。



*バンビグループ・・・河村さん担当

第2・第4火曜日10:00~11:30 打出集会所

1歳~3歳の親子が対象

11月11日(火)は、15組の親子

(その内子どもは20名)が参加されました。

ボランティアは、徳田さん

11月22日(火)は、13組の親子

(その内子どもは18名)が参加されました。

ボランティアは、徳田さん

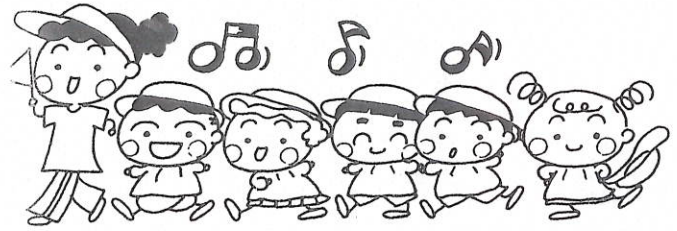


子どもたちだけでなくお母さんたちの会話もはずみます。



絵本は教室で見るだけでなく、借りて帰ることも出来ます。右の人は、徳田さん

県民交流広場事業



まちの寺子屋

・・・河村さん担当

11月25日(金) 15:30~17:00前田集会所にて

=街頭紙芝居師 近藤博昭さんを招いて愉快地過ごす=

まちの寺子屋は幼稚園児、小学校低学年の子どもたちを対象に毎月金曜日、15:30~17:00に前田集会所(前田町8-17)で開設しています。

今回は、街頭紙芝居師の近藤博昭さんをお招きして昔懐かしい原画で紙芝居を見せていただきました。拍子木を打って始まりが告げられ、語り口も昔のまま、木造りの卓台から繰り出される原画は昔から使われているもの。紙芝居は「物語」、「マンガ」、「クイズ」の3本立てで構成されており、楽しいひとときを過ごしました。

今回の参加者は**27名**(内男の子12名、女の子11名、大人4名)でした。アーチの頼田様、河村さんのご主人が参加されました。当会員の参加は、河村さん、羽賀さん。

〇紙芝居師団体「三邑会」(紙芝居総合センター)

塩崎ゆうさんを中心とした街頭紙芝居師のグループで、近藤博昭さんもメンバー。「絵元」である塩崎さんは、20万枚以上の紙芝居の原画を所有、管理し、紙芝居師に貸し出しを行っている。

会員は、毎月会費を納入し、週に一度、紙芝居の絵の交換を行う。

後世の子どもたちに、街頭紙芝居を残して行くための活動を継続されています。現在、大阪天満宮の境内、豊中の稲荷山公園などで街頭紙芝居を行っておられます。



○紙芝居の歴史

(戦前)

紙芝居の原型は江戸時代の「写し絵」と言われています。「写し絵」は、横長の映写幕にロウソクで絵を映し出したもので、それが紙人形の芝居である「立絵」に変化し、昭和のはじめには現在と同じ絵物語式の紙芝居に発展しました。

大正13年(1924年)ごろから紙芝居屋が増えはじめ、紙芝居の見料のかわりに飴を売ることによって収入を得たのです

昭和の不況の時代、紙芝居屋は失業者のてっとり早い職業でした。

(戦後)

戦前の紙芝居は、戦災で焼けてしまいましたが、街頭にもう一度紙芝居をよみがえらせようとの思いから、再び、紙芝居は復活しました。

当時の紙芝居師は、戦争から帰った人たちや、空襲などで会社や家を失った人がほとんどでした。

戦後の作品「黄金バット」は、戦中の軍国調の作品に代わって、戦争で焼け野原となった空き地で毎日、子どもたちに夢を与え続けていたのです。

しかし、昭和28年(1953年)に始まったテレビ放送は、子どもたちの心を奪ってしまったかのようにみえます。

昭和29年(1954年)には、大阪を中心にして1545人の街頭紙芝居師がいましたが、その後、急激に少なくなっていきました。

(資料：塩崎おとぎ紙芝居博物館)



紙芝居の「物語」、近藤さんの独特な語り口と原画で子どもたちは すっかり紙芝居に引き込まれました。

マンガ

「チョンちゃんのお話」



物語

「ニャンゴロウ」

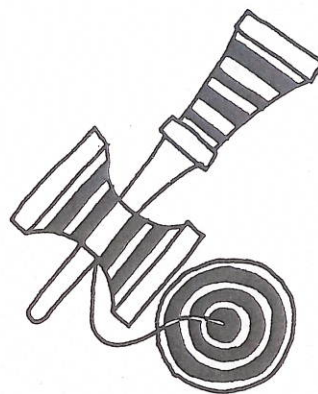
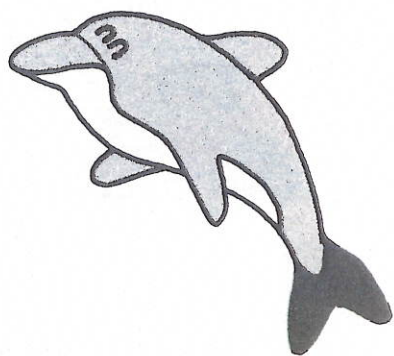




街頭紙芝居・おたのしみクイズ

原画の一部を見せて、全体像を想像し、何かを当てるクイズ、「イルカ」、「カンガルー」、「けん玉」などが登場しました。また、「マルタン星人」など怪獣の名前当てや「朝日と夕日はどちらが重いか？」など、とんちなどもありました。

わかった人は手を挙げて指名を受けたら 答えます。正解するとご褒美がもらえます。また、カタヌキだしの甘いお菓子を手で割って上手にカタが抜けたらご褒美がもらえるというのもありました。そしてちぎったかけらはそのまま食べることが出来ました。



はい！ はい！ わかったよ！ あててっ！



正解すると卓台の引き出しの中からお褒美の品物を取り出されて渡されます。





=知っておきたい知識=

全国都道府県幸福度ランキング

法政大学大学院は、2010年までの統計データを基にして47都道府県ごとの「生活・家族部門」「労働企業部門」「安全・安心部門」「医療・健康部門」の4部門を10段階評価、例えば平均寿命や出生率、完全失業率、犯罪発生件数など40の社会経済指標から総合点を算出し、「幸せ度」を調べて順位を発表した。

これを見ると、トップ10を飾ったのは、都心から離れた人口も少ない「地方」である。大阪府は47都道府県中最下位、兵庫県は45位、東京都は38位で、人口の多いことや街の開発度が必ずしも住民の幸せにはつながっていないことがわかる。

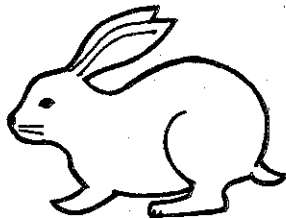
1位の福井県は、未婚率が低く、出生率が高い。障害者の雇用率が高い。正社員の比率が高い。犯罪が少ないなどが評価されているという。

2位の富山県は、自然環境に恵まれ趣味や娯楽に費やす時間が長いことが評価されている。

3位の石川県は、失業者が少なく弱者向けの政策が行き届いていることが評価されている。

一方で最下位の大阪府は、生活保護受給者の多さ、治安の悪さなどが厳しい結果を招いているという。

1位 福井県	11位 滋賀県	21位 愛知県	31位 奈良県	41位 沖縄県
2位 富山県	12位 香川県	22位 岩手県	32位 和歌山県	42位 京都府
3位 石川県	13位 岐阜県	22位 長崎県	33位 千葉県	43位 北海道
4位 鳥取県	14位 山梨県	24位 岡山県	33位 神奈川県	44位 埼玉県
5位 佐賀県	14位 大分県	25位 群馬県	35位 鹿児島県	45位 兵庫県
5位 熊本県	16位 山口県	26位 栃木県	36位 宮城県	46位 高知県
7位 長野県	16位 徳島県	27位 福島県	37位 秋田県	47位 大阪府
8位 島根県	18位 広島県	27位 愛媛県	38位 東京都	
9位 三重県	19位 山形県	27位 宮崎県	39位 福岡県	
10位 新潟県	19位 静岡県	30位 茨城県	40位 青森県	



編集後記

先日インドで修業されたDr.カタリア認定笑いヨガティーチャーが指導するラフターヨガ(笑いヨガ)を体験してきました。まずは身体ほぐし、心ほぐしを通して、ウォーミングアップ。そして"笑い合い"により自分に出会う、他者に出会う。1時間ほど思いっきり笑ったあとは、クールダウンして瞑想する。その後、参加者同士で語り合うという内容、終わって見ると身体が軽くなり、ストレスがすっかりとれて気分爽快でした。

「笑う」ということの素晴らしい効果をあらためて実感した次第。免疫力がアップすることも科学的に実証している。例え、作り笑いであっても同様の効果が期待できるという。一人では照れくさくてなかなか大声で笑うことはむずかしいが、人とおしゃべりするときは、出来るだけ笑える機会を作って笑うように心がけたいと思う。(羽賀)